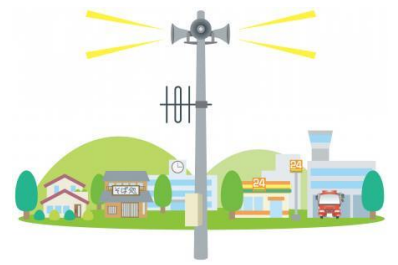


防災行政無線のリニューアルについて



1. 概要

防災行政無線設備の老朽化や現行電波法への適合、さらには近年の情報伝達の多様化に対応するため、市では昨年度より防災行政無線のリニューアル事業を実施しています（総事業費：約4億3千万円。令和元年度：設計・調査、令和2年度・令和3年度：工事）。

防災行政無線リニューアルの中で、より効率的に住民の皆さまに防災・災害情報を伝達するため、放送塔（スピーカー）の配置について、机上シミュレーションだけではなく、全箇所現場調査や実証実験等を行い、新しい防災行政無線放送塔の配置案がまとまりましたのでお知らせします。

■添付資料（A3・4枚）

- ・龍ヶ崎市全域の音達シミュレーション【現況】
- ・龍ヶ崎市全域の音達シミュレーション【更新】
- ・地区別の音達シミュレーション拡大版【現況】
- ・地区別の音達シミュレーション拡大版【更新】

リニューアルの概要

①市内全域で放送内容が聞き取りやすくなります。

長距離・広範囲に音を伝えることができる「高性能スピーカー」を導入し、これまでよりも音の伝わる範囲が広がります（図面の中で赤い部分が聞き取りやすい地域です）。なお、現場実験により放送塔直下での音のうるさは気にならない程度であることを体感・数値により確認しています。また、デジタル音声での放送を導入し、「聞き取りやすさ」を追求していきます（「こどもの下校見守り放送」などの場面・目的によりデジタル音声と肉声放送を使い分けていく予定です）。

②放送塔の局数を減らします（139局→約110局）

「高性能スピーカー」の導入により、1局の音の伝わる範囲が広がりますので、市内全域で約30局の放送塔を廃局しコスト削減を図ります。廃局予定放送塔のお近くにお住まいの方は、現在より音が聞こえにくくなりますが、龍ヶ崎市全体の音達向上と工事費・運用費の削減にご理解をいただきますようお願いいたします。

③防災アプリを導入します

防災無線放送のほかにホームページ、メール配信サービス、SNSなどにより防災情報を配信していますが、加えて龍ヶ崎市独自の防災アプリを導入します。防災アプリでは、災害時の情報はもちろん、平常時の備えにも重点を置き、市民の皆さまのお役に立てるような内容を目指していきます。防災アプリの導入時期は今年の8月を予定していますので、運用開始の際はぜひ登録・ご利用ください！

2. 工事内容

住民の皆さまに一番影響を及ぼす工事は放送塔の工事になります。現在の市内全域の放

送塔すべてに対して、以下3つのうちいずれかの工事が発生します。いずれの工事についても工事日数は1～2日で完了する見込みです。工事に際しましては、建設重機や高所作業車を使う作業となりますが、安全管理を最優先して実施してまいります。

なお、防災行政無線放送が停止するのは工事期間中（1～2日）のみで、それ以外の期間については通常通り防災行政無線放送が流れます。

①放送塔の建替え

現在の放送塔を撤去し、新たに放送塔を建柱します。建柱位置は原則として同位置を予定しています。

②放送塔の廃局

放送塔を基礎も含めて撤去して更地に戻します。

③既存柱を再利用してスピーカー・無線機等の装柱品を交換

既存の柱を再利用し、柱に装着されているスピーカー等の機器類を一新します。

3. 今後のスケジュール

防災行政無線放送塔の工事は令和2年8月から順次着工し、令和3年12月までに龍ヶ崎市内全域の放送塔の工事を完了する予定です。現段階ではどの地域から着工するかは決定していませんが、着工時期が確定次第、自治会長様に事前にご連絡を差し上げたうえで、地域内で工事を実施させていただきます。

4. その他

防災行政無線放送については現在でも「聞き取りにくい」、「音がうるさい」など様々なご意見をいただいております。防災無線のリニューアル工事を行ったとしてもご意見全てを満足することはできないものと考えておりますが、一人でも多くの市民に防災・災害情報を伝えられるよう取組んで参ります。また、戸別受信機（家の中で防災無線放送を聞き取ることができる装置）の配布や購入費の助成制度も検討しておりますので、様々な媒体をご利用いただき、防災・災害情報を取得いただきますようお願い申し上げます。

●工事に関するお問合せ

<発注者>

龍ヶ崎市危機管理課

龍ヶ崎市 3710 番地

TEL 0297-64-1111(内線 351)

<受注者>

NEC(株)茨城支店

茨城県水戸市宮前 1-2-4 マイムビル 5階

TEL 029-226-1717

